

## 研究の経過と概要

### 1、研究テーマ

思考力・判断力・表現力を育む国語科の指導～言語活動の充実を通して～

### 2、研究の経過と概要

東山梨地区国語科教育研究部会では、生徒の実態を踏まえて平成23年度より上記のようなテーマで研究を行ってきた。コミュニケーションツールの変化や人間関係の希薄化、情報があふれている現代社会において、生徒にとってより良い人間関係を構築していくための表現力や、自分で考え判断し必要な情報を取捨選択していく力、他者と交流して新しい考えを作り上げる力が、今まで以上に重要なものとなってくる。国語科の果たす役割は益々大きなものとなっていくだろう。

本部会では、小学校・中学校の二部会に分かれての研究体制をとっている。それぞれの部会ごとの研究に加えて、夏季は小学校の授業を、冬季は中学校の授業を参観し合うことで、子ども達の発達段階に応じた指導方法を学び合っている。小中の連携を今後も深めていきたい。

### 3、今年度までの授業実践の経過

年度	授業実践の内容
27年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・「挨拶」を読み、意見を交流しよう ～意見交流から、自分の考えをまとめよう～ なぜ作者は「挨拶」という題名をつけたのか作者の思いを捉え、意見交流をし、自分の考えをまとめる授業である。「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用い、生徒それぞれが持っている知識や考えなどを活用し、他者とのかかわりを通して自分の考えを深めることができた。授業のはじめに「わからない」と書いた生徒も、交流後に自分の考えを持つことができ、有効な手立てであった。</li><li>・「ワールドカフェ」の手法を用い、考えを広げて、文章を書く 「ヤクーバとライオン」という自主編成教材を用い、話し合いの中で自分の考えを広げ、自分の考えを文章に書き表すという実践。</li></ul>
28年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・「言葉」についての二つの文章を読み比べることを通して、自分の考えを深めよう 大岡信氏と池田晶子氏の「言葉の力」を読み、3～4人グループの話し合い活動を通して、筆者それぞれの「言葉についての考え」をつかむ。池田氏の「言葉とは自分そのものだ」という考えについて、自分自身の具体的なできごとに置きかえ、自分にとって言葉とは何かという意見を持たせることにつなげていった。個人から3～4人の小グループ、そして全体へと段階的に意見交流を行わせることで考えを深めながら、言葉について自分の考えを持つ授業を行った。（本日提案）</li></ul>

29年度	<p>・「主張と根拠のつながりが明確な作文を書こう」</p> <p>4つの観点をもとに、自分の主張と根拠のつながりが明確になっている小作文を書き、3～4人の小グループで互いに小作文の添削をした。4つの観点を提示することで、作文が苦手な生徒もわかりやすく書くためのヒントになり、仲間の小作文を添削するときのポイントとしても効果的であった。自分以外の小作文を添削することで、自分自身の小作文の課題に気づくことにつながり、書くことの力を伸ばすために有効であった。</p>
------	--

#### 4、今年度の研究について

今年度は、小学校・中学校それぞれ研究を進めてきた。研究授業については合同で行い、お互いの授業を参観し合って、学び合っている。8月には、小学校部会の授業を参観し、5年生の話し合い活動について研究を行った。中学校部会では2年生の読むことについての授業を、2月に公開する予定である。

#### 5、本年度研究部員

部長 広瀬 康子（大和中）  
副部長 依田 久幸（松里中）  
部員 小野渚・横森梨歌・佐藤彩奈（山梨南中）  
鮎澤智美・筒井修子（山梨北中）  
根岸喜久恵・川崎真理子・岡沙矢佳（塩山中）  
小林史奈（塩山北中）  
田辺秀樹（勝沼中）

指導助言 広瀬真次校長先生（塩山北中）  
倉田憲一教頭先生（山梨南中）

#### 本文

##### 【概要】

本実践は、生徒が書いた小作文を生徒同士で添削し、根拠の明確さや説明の具体性を吟味していく中で、説得力のある文章を書く力の育成を目的にしたものである。前時には、モデル文を用いて、主張と根拠のつながりが曖昧であることや、説明が抽象的であることとはどのようなことなのか、全体で考える時間をもった。その上で、本時では自分の書いた作文の表現を見直した。自分の課題点を客観的にみつめることにつながった。

1. 単元名 主張と根拠のつながりが明確な作文を書こう

3学年B領域「書くこと」(1)イ・エ

「伝統的な言語文化と言葉の特質に関する事項」ウ(イ)

2. 教材名 主張と根拠のつながりが明確な作文を書こう

i. 教材について

ある物事について論じたり評価したりするときは、抽象的な印象で捉えて表現しても、それは主観的で感情的なものに陥ってしまうことになる。主張を裏付ける具体的な体験や見聞をもとに、順序立てて表現することができたとき、筋の通った主張になるのではないかと考える。

思考力・判断力・表現力の育成に関して、「論理(情報と情報の関連性)の吟味・構築」することは避けられないものとする。情報の具体・抽象、主張と根拠のつながりを吟味し、自らの思考を、決められた字数の中で表現するために、文章を組み立てる力を養う時間にしたい。具体的な体験や見聞をもとに、そこから自己が考えたことや学んだことを踏まえ、主張を立てる力を義務教育最終段階として確実に定着させたい。

3. 生徒の実態

物事への取りかかりは遅いが、取り組みが始まると集中し、こだわりをもってやり遂げる生徒が多い。学習に対して意欲的で、どの教科においても独創的な考えや意見がよく出てくる。しかし、「観点を立てて分析する」教材を学習した際には、観点を絞って特徴を口頭で示すことはできるが、順序立ててわかりやすく書くことには時間がかかった。また、「初恋」を学習した際には、比喩や間接的な表現の仕方に興味をもち、その表現を気に入った生徒が多かったが、なぜ良いと思ったのかなど、理由をしっかりと明記できる生徒は少なかった。理解力のある生徒も多いため、学力が低い生徒にとっては質問しづらい雰囲気になってしまうこともある。行事面においては、やや消極的な生徒がおり、クラス全員で乗り越えようとする雰囲気をつくることに課題がある。クラスメイトとの関係の中で、笑い合ったり、語り合ったり、注意し合ったりしてきた経験を、相手が理解、納得してくれる文章を書くことへ生かしていきたい。

#### 4. 指導と評価計画

##### (1) 評価規準

関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識・理解・技能
互いの文章を読み合い、論理の展開について、自分の表現に役立ててようとしている。	主張と根拠のつながりを明確にし、説得力のある文章を書くことができる。	① 文の中の文の成分の照応について考え、正しい文章が書ける。 ② 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使うことができる。

##### (2) 指導と評価の計画

時	学習活動	指導上の留意点	手だて
1	○想定される間違いがあるモデル作文を一斉に添削する。  ○3つのテーマから1つを選択し、240字の作文を書く。	・具体的で根拠が明確とはどういうことかを考えさせる。 ・作文を評価する際の観点を提示する。	・具体的に観点を絞って作文を読むよう指示を出す。
2 (本時)	○事前に書いた作文を小グループで読み合い、評価し合う。  ○評価をもとに自分の作文を書き直す。	・主張と根拠のつながりの明確さについて評価させる。  ・より伝わりやすく、主張の裏付けが明確である作文になることが目標であることを再度認識させる。	・選んだテーマごとにグループ編成をするが、作文が得意な生徒と、苦手な生徒が偏らないようにする。

#### 5. 本時の展開

(1) 日時 平成30年2月7日(水)

(2) 場所 山梨北中学校3年2組 教室

(3) 本時の目標 主張と根拠のつながりを明確にし、説得力のある作文を書く。

(4) 評価規準 主張と根拠のつながりを明確にし、説得力のある文章を書くことができる。



## 5. 生徒に提示する課題

- ①インターネットと今後どのように付き合っていきたいか。
  - ②努力することの大切さとは何だと考えるか。
  - ③周囲の人から愛される人間とはどのような人間か。
- 具体的な体験や見聞を踏まえ、200字～240字で書きなさい。

## 6. モデル作文

- ・あなたの考える和食の良さとは何か。
- ・協力することの大切さ

## 7. 成果と課題

### 〈成果〉

- ・観点が絞ってあって良かった。
- ・相互評価を取り入れることで、個人の問題意識も高まり、意図していた課題点に生徒自ら気づくことができていた。
- ・書き直す前に発表よりも、後に発表する方が効果的で良かった。
- ・ワークシート②の自己分析があることで、授業の振り返りが自然とできていた。
- ・グループの組み方がよく考えられていたため、会話がよくされていた。

### 〈課題〉

- ・「具体的」という言葉が理解できていなかった生徒も中にはいた。
- ・書き直しを行う前と後でどのような変容があったのか、振り返りを行うことでより成果と課題を明らかにできるのではないか。
- ・題によっては、具体例と主張を結びつけることが難しい。
- ・迷っているグループがいたので、全体で共有しようと教師が働きかけても良かった。

### 〈その他〉

- ・よく改善されていた作文については、次回の授業で共有していった方がよい。
- ・作文が書けない生徒は、いい作文を写すことも有効である。
- ・低学年の児童には、YES・NOで書ける意見文が書きやすい。

観点を絞ったことやグループの組み方をよく考えるなどの丁寧な指導が、生徒の書く意欲を高め、それぞれの小作文についての意見交流を活発にし、深い学びにつながっていった。生徒同士が、お互いの小作文を添削することで、自らの課題にも気づくことができ、書くことの力を高めていくことができた。

# 具体的で根拠が明確な作文とは？

## ① 採点してみよう！間違えのポイントは

私の考える和食の良さは、バラニク良く栄養を摂取できるところが、良いところだと思います。なぜなら以前、テレビで和食にっいて報道送られていました。和食は様々な栄養素を含んでいて、洋食にはない良さがあると言っていた。だから、世界からも認められ、世界無形遺産に登録されたのだと思います。しかし、日本が和食に対する関心は低い。私は和食をなくしては、いけないと思います。和食の良さをもう一度見直したリして、日本の重要な文化の一つとして、大切にしていきたいです。

主張  
体験・根拠  
考察・目的

① にて  
よくないところはないか？

## ②

私は、協力することはコミュニケーション能力を高め、いく上で大切だと思います。学園祭で私たちがクラスは時間を大切に、効率よく取り組んでいこうと決めました。私たちは、どの練習をするのにも協力しました。協力したおかげで、良い結果を残すことができました。仲間との絆も深まりました。この経験から私は、協力することによって、人との絆が深まる、コミュニケーション能力が高まる、ということを学びました。だから、協力することは大切なのだと思います。

主張  
体験・根拠  
考察・目的

② にて  
もっといいところはないか？

## ③

私は、協力することはコミュニケーション能力を高め、いく上で大切だと思います。学園祭で私たちがクラスは時間を大切に、効率よく取り組んでいこうと決めました。準備や片付けを手伝う人が増えたり、委員長が告げ、活動場所や時間の変更を、ハイタリ、グが個々に伝え、なめたりと、生徒同士で会話をすることが増えました。このように、協力することによって、人と関わる必要不可欠です。周りの動きに目を配り、相手の気持ちを考えなければ、協力できないので、コミュニケーション能力を高める上で大切だと考えます。

主張  
体験・根拠  
考察・目的

③ にて

漢字ミスや原稿用紙の使い方のミス以外の内容は、この4つの観点で採点してほしい。

観点	
①	主張がはっきり書かれているか
②	体験が主張の根拠になっているか
③	体験が具体的か
④	体験から考えたこと・学んだことが書けているか

# 主張と根拠のつながりを明確にした作文を書こう①

生徒A

氏名【

選んだタイトル

①書き始める前に（この主張をもつようになった理由としてふさわしいものを根拠にする）

主張 恥ずかしがりやに  
進んで助けに行けらト

根拠

だれかがいじめられていたら  
愛される人の場合なら助けの勇気

②書いてみよう

私は、悪いことをしている人がいたら、恥ずかしがりやに進んで助けられる人が愛される人だと思っています。

例えば、誰かがいじめられておるとします。それを見た人は、普通の人だったら素通りしてしまいます。もし、それを見たのが愛される人の場合、迷ったり恥ずかしがりやに止めることができません。私はそのまうな人を見たことがあり、とても感じしました。

このまうに、愛される人には勇気があるのだと思っています。大切なのは、勇気を出すことが大切なのだと教えます。

観点	一 人 目	二 人 目
①主張がはっきり書かれているか	○	○
②体験が主張の根拠になっているか	○	○
③体験が具体的か	△	△
④体験から考えたこと・学んだことが書けているか	○	○

アドバイス（より）  
具体的に自分の体験をもっと書いたり良いと思っ  
た和

アドバイス（より）  
体験をもっと詳しく書けるか  
よい。

## 主張と根拠のつながりを明確にした作文を書こう②

氏名

生徒 A

☆自己分析 (書き直しに向けて)

- (1) 私は観点「③」番に課題がある。
- (2) どう直せば改善されるか

例：毎日△回素振りをした結果、ヒットを打てることが多くなったことを書く。

具体的に自分の体験を書く。

☆自分の課題点克服を目指して書きなおそう！(問題点がない人は違うお題で書いてみよう)

私は、悪いことをしている人がいたり、	恥
ずかしがらずに進んで助けられる人が愛され	
る人だと思っています。	
私は、誰かがいじめられているのを見た時、	
進んで助けるべきなのが見失ってしま	
った時がありました。でもそんな時、愛され	
る人だ。たら、すぐに声をかけると思います。	
勇気を出して、進んで声をかけられる人に、	
私は尊敬します。そんな愛される人には勇気	
を出して行動にうつすことが大切なことなの	
だと考えます。	

採点 (記入しないで)

# 主張と根拠のつながりを明確にした作文を書こう①

大野

氏名

生徒B

選んだタイトル (1) インターネットと情報のつながりについて考えてみよう

① 書き始める前に (この主張をもつようになった理由としてふさわしいものを根拠にする)

主張

インターネットを信じすぎない

根拠

発信された情報に誤りがあるということがあるから。

②書いてみよう

私は、インターネットの情報をあまり信じすぎないようにしていきたくてです。インターネットを利用する上で、常に頭の中に入れておかなければならないこと、それは全ての情報が正しいわけではないということです。誰が何の根拠に発信しているのかわからないですし、悪意をもって誤った情報も発信する人もいます。そのため、インターネットの情報を信じすぎは避けたいです。このように、発信された情報に誤りがあるかもしれないということを頭の中に入れておかなければならないと思えます。

観点	一言	二言
① 主張がはっきり書かれているか	○	○
② 体験が主張の根拠になっているか	△	△
③ 体験が具体的に	△	△
④ 体験から考えたこと・学んだことが書けているか	○	○

アドバイス (より)

体験をもっと具体的に

アドバイス (より)

③は「その後」がどうなるか

## 主張と根拠のつながりを明確にした作文を書こう②

氏名【

生徒 B

☆自己分析（書き直しに向けて）

- (1) 私は観点【①】番に課題がある。
- (2) どう直せば改善されるか

例：毎日△回素振りをした結果、ヒットを打てることが多くなったことを書く。

実際に調べた情報をインターネットで見るとき、

☆自分の課題点克服を目指して書きなおそう！（問題点がない人は違うお題で書いてみよう）

私	は	、	イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	の	情	報	を	あ	ま	り	信	じ		
す	ぎ	な	い	よ	う	に	し	て	い	き	た	い	で	す						
イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	は	、	調	べ	た	い	こ	と	を	す	ぐ	に		
調	べ	る	こ	と	が	で	き	、	と	て	も	便	利	で	す	、	し	か	し	
イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	上	で	の	情	報	が	全	て	正	し	い	と	は	
限	り	ま	せ	ん	、	私	は	以	前	気	に	な	っ	た	こ	と	を	、	イ	
ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	で	調	べ	ま	し	た	、	調	べ	た	情	報	に	誤	
り	が	な	い	と	思	い	込	み	信	じ	て	し	ま	っ	た	こ	と	う	、	
て	の	情	報	が	正	し	く	な	い	と	が	か	り	ま	し	た				
	こ	の	よ	う	に	、	イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	上	の	情	報	は	、	
全	て	正	し	い	と	は	限	り	ま	せ	ん	、	イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	
の	情	報	は	信	じ	す	ぎ	な	い	よ	う	に	し	て	い	き	ま	さ	ず	。

採点（記入しないで）